

きれいな甲斐

No.39 AUGUST 2007

環境パートナーシップやまなしは、県民・事業者・行政のパートナーシップ（協働）のもと、団体間の連携や情報交換の場づくりなどを通して、自主的な環境保全活動を積極的に展開していくことを目的として様々な活動を行っています。
環境保全に関する活動を積極的に行っている団体、個人のみなさまのご入会をお待ちしています。

環境パートナーシップやまなし

事務局 ● 〒400-8501 山梨県甲府市丸の内1丁目6-1 山梨県循環型社会推進課内
TEL.055-223-1506 FAX.055-223-1507 ✉ juncan@pref.yamanashi.lg.jp
URL <http://www.pref.yamanashi.jp/barrier/html/juncan/60200266375.html>



古紙配合率100%再生紙を使用しています

発行責任者 ● 広報専門部会長 神宮寺 聡

平成19年度 定期総会を開催



平成19年度定期総会を、6月5日（火）、山梨県立文学館で開催しました。

開会にあたり、宮川会長からあいさつがあり、来賓を代表して山梨県の今村森林環境部長からご祝辞をいただきました。

また、一日森林環境部長の清水さなえさん（㈱山梨中央銀行 本店営業部勤務）も来賓としてご出席いただきました。

議事では、平成18年度事業報告・収支決算報告、平成19年度事業計画・収支予算及び役員・企画委員について原案どおり承認されました。

◆ 役員・企画委員 ◆

- 会 長 宮川陸武（山梨県中小企業団体中央会）
- 副 会 長 高野孫左衛門（山梨県ボランティア協会） 野口英一（財富士山をきれいにする会）
天野 一（山梨県PTA協議会） 渡辺一彦（日本労働組合総連合会山梨県連合会）
小林二郎（山梨県農業協同組合中央会） 渡辺恭史（山梨県商工会議所連合会）
- 監 事 井上 勲（山梨県建設業協会） 辻 一幸（山梨県林業団体協議会）
- 企画委員長 長田孝夫（山梨県商工会連合会）
- 企画委員（〇は各専門部会代表）
- （広報専門部会）
- 長田孝夫（山梨県商工会連合会） 内田松樹（山梨県自然保護教育振興会）
深澤芳次（山梨県高等学校PTA連合会） 岩間光弘（山梨県私立幼稚園協会）
- 〇神宮寺 聡（山梨県労働者福祉協会）
- （実践活動部会）
- 伊藤祐寛（山梨県専修学校各種学校協会） 〇高橋 勇（バックネットやまなし）
黒田光秀（学識経験者） 仲澤早苗（山梨県消費生活研究会連絡協議会）
小林幸子（山梨県生活研究グループ連絡協議会）
- （ネットワークづくり専門部会）
- 〇依田茂己（山梨県青少年団体連絡協議会） 飯窪さかえ（山梨県女性団体協議会）
志村友男（山梨県老人クラブ連合会） 古屋利道（環境に関する企業連絡協議会）
岡 尚志（学識経験者）

平成19年度事業計画

1. 活動情報の交換及びネットワークづくりのための事業

- (1) 広報誌の発行
会員向けの会報的なものとし、年4回の発行を基本とする。
- (2) 会員の募集
会員の拡大(募集)を図るため、効果的な広報活動を行う。
- (3) ネットワークづくりのための調査・研究
県内市町村の環境に係る団体を調査し、ネットワーク化に向けての研究を行う。

2. 実践活動推進のための事業

- (1) 地球温暖化防止のための県民参加型事業の実施
○サマーエコチャレンジ(個人・事業所) ○エコスタイルキャンペーン(事業所)
詳細については、右ページをご覧ください。
○地球温暖化防止活動推進センターとの協働
- (2) 環境に関するイベント等の実施
「県民の日」や他のイベントなどに参加し、「環境パートナーシップやまなし」のブースを設置し、クイズラリー及び各団体が取り組んでいる活動を紹介する。
- (3) 県事業との協働
「やまなしクリーンキャンペーン」、「環境フォーラムinやまなし」、「“人と環境にやさしい交通”県民運動」、「ボランティア月間」などに積極的に参画し、実践活動を行っていく。

3. ごみの減量化に向けた実践的な取り組み

- (1) マイバスケット・マイバッグ運動などによる3Rの推進
容器包装リサイクル法が改正され、レジ袋の削減が話題となっており、当会で推進してきた、マイバスケットに加え、マイバッグも併せ普及啓発活動を推進させるなど3Rの推進を図る。
- (2) 「県民の日」記念行事におけるごみ減量化運動
毎年11月に開催される「県民の日」記念行事には、2日間で約10万人の来場者があり、多量のごみが排出されている。
こうしたことから、毎年実施しているごみの持ち帰り運動を引き続き実施するとともに、出展者に対し使い捨て容器からリユース容器の転換を要請し、「県民の日」記念行事をごみのでないエコイベントとなるよう活動展開していく。

「環境の日」の行事を実施しました 県森林環境部

平成19年6月5日(火)の「環境の日」には、株山梨中央銀行 本店営業部の清水さなえさんを一日森林環境部長に委嘱し、各種行事を行いました。

☆ごみ減量・リサイクル推進キャンペーン

JR甲府駅前において、ごみ減量とリサイクルを呼びかけるリーフレットや花の種、また、食器容器環境美化協会様からご提供いただいたポケットティッシュ、ボールペンなどの啓発物品を配布しました。県内各市町村・県林務環境事務所においても5日又はそれに近い適当な日に実施しました。



※キャンペーン協力団体(敬称省略、50音順)

JA山梨女性部協議会、食品容器環境美化協会山梨地方連絡会議、山梨県産業廃棄物協会、山梨県消費生活研究会連絡協議会、山梨県生活学校連絡会、山梨県生活研究グループ連絡協議会

☆環境フォーラムinやまなし

山梨県立文学館において環境フォーラムを開催し、元アメリカ副大統領アル・ゴア氏が地球温暖化の真実の姿を解明し、いかに地球と人類が危機的な状況にあるかを訴え、アメリカのドキュメンタリー史上記録的なヒットとなった映画「不都合な真実」を上映しました。



夏の「爽快」エコスタイルキャンペーン

京都議定書に基づく地球温暖化防止のための温室効果ガス削減に向けては、県民・事業者の「ライフスタイル、事業活動の変革」による省エネルギーの取り組みが重要であり、国においても「COOL BIZ（クールビズ）」の名称で軽装、適正冷房を呼びかけています。

環境パートナーシップやまなしにおいても、4年目の取り組みとして、夏季の様々なビジネスシーンにおいて、お客様や取引先など事業活動に関わる関係者の理解と協力を促し、蒸し暑い真夏でも「軽装では相手に失礼」といった考え方を、「夏の軽装は省エネにつながり環境にやさしい。軽装こそ良識」というものに変え、環境と共生する新しいビジネス文化、県民性を本県に根付かせることを目的として、軽装及び適正冷房を広く呼びかけるため本キャンペーンを実施しています。

実施期間

平成19年7月1日（日）～9月30日（日）

実施対象

県内に事業所、営業所を有する事業者、団体、市町村など

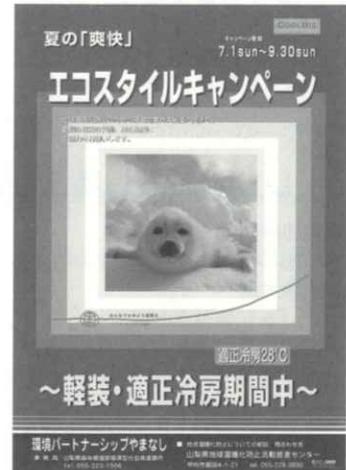
取組項目

①適正冷房の実施

- ・事務所、会議室における適正冷房（28℃設定）
- ・電車、バスなど公共的な場所における過冷房の抑制

②軽装の奨励

職場における服装として信用と品位を損なわず、暑苦しさや不快感を感じさせない清潔感のある軽装（ノーネクタイ等）を奨励する。



サマーエコチャレンジ2007

地球温暖化防止のため、私たちの日常生活の中でどんなことができるかを考えるきっかけとして、夏の電力使用量の削減に取り組む「サマーエコチャレンジ2007」を実施しています。

1. 参加部門

個人部門：各世帯単位での参加

事業所部門：団体、事業所、営業所単位での参加

2. チャレンジ内容

各参加者（世帯・事業所等）が8月を含む約1ヶ月間、前年の同時期に比べ電力使用量を何パーセント削減するか目標を定め、節電に取り組めます。

3. 表彰

目標達成者には、達成証、記念品を贈呈します。

（事業所部門は達成証のみですが、名称を当ホームページ、会報誌等で公表させていただきます。）

4. 期間

◇募集期間……平成19年7月1日（日）～7月31日（火）

◇実施期間……平成19年8月を含む1検針期間

◇報告締切……平成19年10月12日（金）

◇表彰者発表…平成19年11月30日頃を予定



◇節電のポイント◇

エアコン

- ・設定温度は1℃高めに設定→10%の省エネ！
- ・「冷やしすぎ」に気を付けて1日1時間エアコンの使用時間を減らす。

照明

- ・白熱電球を蛍光灯に換えると消費電力量は1/4になります。

洗濯機

- ・最も効率が良いのは容量の80%。まとめて洗えば手間もエネルギーも減らせます！

新潟県中越沖地震の影響による柏崎刈羽原発の稼働停止を受け、今年の夏は電気の供給量が不足する！？

山梨県にとって最大電力の七割を占めたこともある重要な電力供給源である、柏崎刈羽原発の稼働停止による電力供給量不足の懸念について、東京電力は8月の最大電力量を6,110万kwと予想。地震対策を講じた結果の供給量は6,245万kwとし、平年並みの気温の場合、供給力は確保できる見通しだが、猛暑となり気温が著しく上昇した場合には供給力が不足する恐れがあるとしています。

このような状況から、今年は例年以上の節電への取り組みが求められています！

～ノーレジ袋推進への取り組み～ 県循環型社会推進課

—研修会を実施しました—

県では、容器包装リサイクル法の改正を契機として小売業者・消費者団体・市町村などが協働してレジ袋削減などに取り組むことを目的に、7月24日、「ノーレジ袋推進についての研修会」を実施しました。

同志社大学経済学部教授（京都市レジ袋有料化推進懇談会・座長）の郡 篤 孝（ぐんじま たかし）氏を講師に迎え、京都市における先進的な取り組みを中心に国内外における事例について講演をいただきました。その後の、小売業者・消費者団体・行政の代表におけるパネルディスカッションでは、レジ袋削減に向けた現在の活動の紹介、今後の取り組みについて意見交換がなされ、レジ袋の有料化等について継続して話し合いをする場を設けた方がよいなどの意見が出ました。

また、パネラーの山梨県女性団体連絡協議会会長 飯窪さかえ氏からは、全国生活学校連絡協議会等を中心に関係団体、報道機関、企業や行政と連携して活動する「レジ袋減らし隊」の取り組みについての紹介がされました。この活動では、半年間で3,000万枚削減を目指しています

レジ袋減らし隊全国運動展開中！

◆実施時期

平成19年7月1日～12月31日

◆実施方法

- ①「レジ袋減らし隊カード」を入手する。
- ②協力店舗のレジで「レジ袋はいりません」と言い、「レジ袋減らしたいカード」に削減枚数または辞退回数のいずれかに相当する数のスタンプを押してもらおう。
- ③都道府県ごとに削減枚数を集計し、「あしたの日本を創る協会」にて全国集計する。

詳しくは、あしたの日本を創る協会ホームページをご覧ください。URL：<http://www.ashita.or.jp/>
参加等のお問い合わせは、下記連絡先へお願いします。

【連絡先】

あしたの山梨を創る生活運動協会、山梨県生活学校連絡会



レジ袋使わないから
はんこください...



年間、一人300枚！！？

レジ袋の原料はポリエチレンなどの合成樹脂で、石油から作られるプラスチック製品です。日本ポリオレフィンフィルム工業組合によれば日本だけで、年間305億枚、乳幼児を除くと国民1人あたり年間300枚近くのレジ袋を使用しています。これは重量で3kg。全国で3,000万枚のレジ袋削減は、300tのごみの減量につながります。

また、原油に換算すると5億5,800万リットル。2リットルのペットボトル約2.8億本分になります。レジ袋を使わなければ、その分の石油資源を節約することにもつながるのです。

会員リレートーク

Vol.1

今回から、会員みなさまのリレートークコーナーを作ることにしました。

日常で取り組んでいること、感動したこと、環境のこと、新しい発見、みなさまのネットワークの広がりや役に立つことを期待して、第1回は広報専門部会の神宮寺聡（山梨県労働者福祉協会）からスタートします。

～地球温暖化阻止に向けた個人的努力～

山梨県労働者福祉協会 神宮寺 聡

私は現在通勤に自転車を使っている。理由は唯一「地球温暖化阻止」にある。（ウソです。通勤用の車買えないし、駐車場代払えないし）で、毎日の往復で約8キロの道のりをエッチラオッチラ走っている。

走っていて気がつくことに実に車の多いこと、それにほとんどが一人乗車。1日になんかもすごい量のガソリンが消費されているんだなと思う。もう少し公共交通機関が整備されればなとも思う。「朝っぱらからエアコン入れてんじゃねえよ」と呟く。そうこうしていると、汗びっしょりの姿で職場へたどり着く。そして、「自転車はいいよ。運動にもなるしお金は掛からないし、温暖化阻止につながるよ」と職場の皆に言いふらかしている。

こうして私は自信と確信を持って温暖化阻止に向けた地道な取り組みを進めているが、最近は夏の暑さも結構耐えられるようになってきた。

ということは、温暖化阻止の前に温暖化に耐えられる体質改善が進んでいるってこと？

お知らせ

「きれいな甲斐」は送付方法を①郵送、②メール配信、③県ホームページよりダウンロードの3種類から選択できます。現在の送付方法から変更を希望される方は、事務局へご連絡ください。

環境パートナーシップやまなし事務局（県循環型社会推進課内）

TEL：055-223-1506/FAX：055-223-1507 E-mail：junkan@pref.yamanashi.jp

●投稿募集中

【会員紹介コーナー】

①スペースはA5判程度で、原稿と写真等を入れて構成してください。②団体等の名称、所在地（事務局または事務所等）、連絡先を必ずお書きください。③内容は、活動紹介やPRなど自由です。④締め切りは特にありません。

【行事予定】

○団体名、日時、場所、内容、申込み方法、連絡先等です。